

2008年10月3日

郵便事業株式会社
東北支社

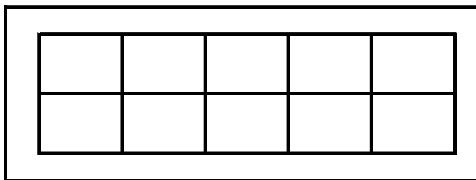
特殊切手「国際文通週間にちなむ郵便切手」の発行

郵便事業株式会社（東京都千代田区、代表取締役会長CEO北村憲雄）は、平成20年10月9日に、特殊切手「国際文通週間にちなむ郵便切手」を発行いたします。

国際文通週間は、昭和32年（1957年）の第14回万国郵便大會議において、“世界の人々が文通によって文化の交流に努め、世界平和に貢献しよう”という趣旨で設定されたキャンペーンであり、日本では、その一環として、「国際文通週間にちなむ郵便切手」を昭和33年（1958年）以降、毎年発行しています。

額面は、90円・110円・130円の3種類となっており、これは、国際郵便における日本から各地帶あての手紙（定形）の最低料金額となっております。

1 発行する切手の内容

名 称	国際文通週間にちなむ郵便切手		
発 行 日	平成20年10月9日（木）		
種 類	90円郵便切手	110円郵便切手	130円郵便切手
意匠	うたがわひろしげが 歌川広重画 とうかいどうごじゅうさんつぎのうち 東海道五拾三次之内 かながわ 神奈川	歌川広重画 東海道五拾三次之内 みしま 三島	歌川広重画 東海道五拾三次之内 いしべ 石部
シート構成	 各1シート1種10枚 1枚から販売します。		
印面・小切れ寸法	縦33.0mm×横45.0mm		
シート寸法	縦93.5mm×横250.0mm		
版式刷色	グラビア5色		
発行枚数	400万枚 (40万シート)	400万枚 (40万シート)	300万枚 (30万シート)
デザイン	たまき 玉木 あきら 明（切手デザイナー）		

2 発行する郵便切手のデザイン等

【東海道五拾三次】

江戸時代に整備された日本橋（東京）から三条大橋（京都）を結ぶ東海道の、起点、終点と 53 の宿場を題材として、歌川広重が描いた浮世絵画です。

歌川広重（1797～1858）は、江戸時代後期の浮世絵師で、15歳の時に歌川豊広に入門して浮世絵界に入りました。その後、狩野派、南画等を学び、独自の画趣を確立しました。

これまでにも、「国際文通週間にちなんだ郵便切手」として、「東海道五拾三次」を題材としており、27の宿場等をデザインした郵便切手を発行してきました。

本年は、「東海道五拾三次（保永堂版）」（平木浮世絵美術館蔵）のうち、まだ題材としていない宿場の中から、90円郵便切手に「神奈川」（神奈川県）、110円郵便切手「三島」（静岡県）、130円郵便切手に「石部」（滋賀県）をデザインしています。

3 郵便事業株式会社における通信販売

(1) ゆうちょ銀行の送金サービスによる通信販売

郵便事業株式会社において通信販売を実施します。ご希望のお客さまはゆうちょ銀行送金サービスの「振替払込書」に必要事項をご記入の上、お申込みください。なお、通信販売料金、申込締切日等は、別紙のとおりです。

(2) インターネットによる通信販売

ゆうびんホームページの以下のアドレスより、お申込み可能です。

<http://kitte-shop.post.japanpost.jp/goods/index.html>

インターネットによるご注文から商品発送までの期間は、クレジットカード払いの場合はお申込み後1週間程度ですが、ゆうちょ銀行の送金サービスによる場合はご入金後2週間程度です。

なお、発行日前にお申込み頂いたご注文については、発行日以降に上記期間により発送します。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

担当：郵便事業株式会社

東北支社 総務部 広報担当

電話：022-267-7654